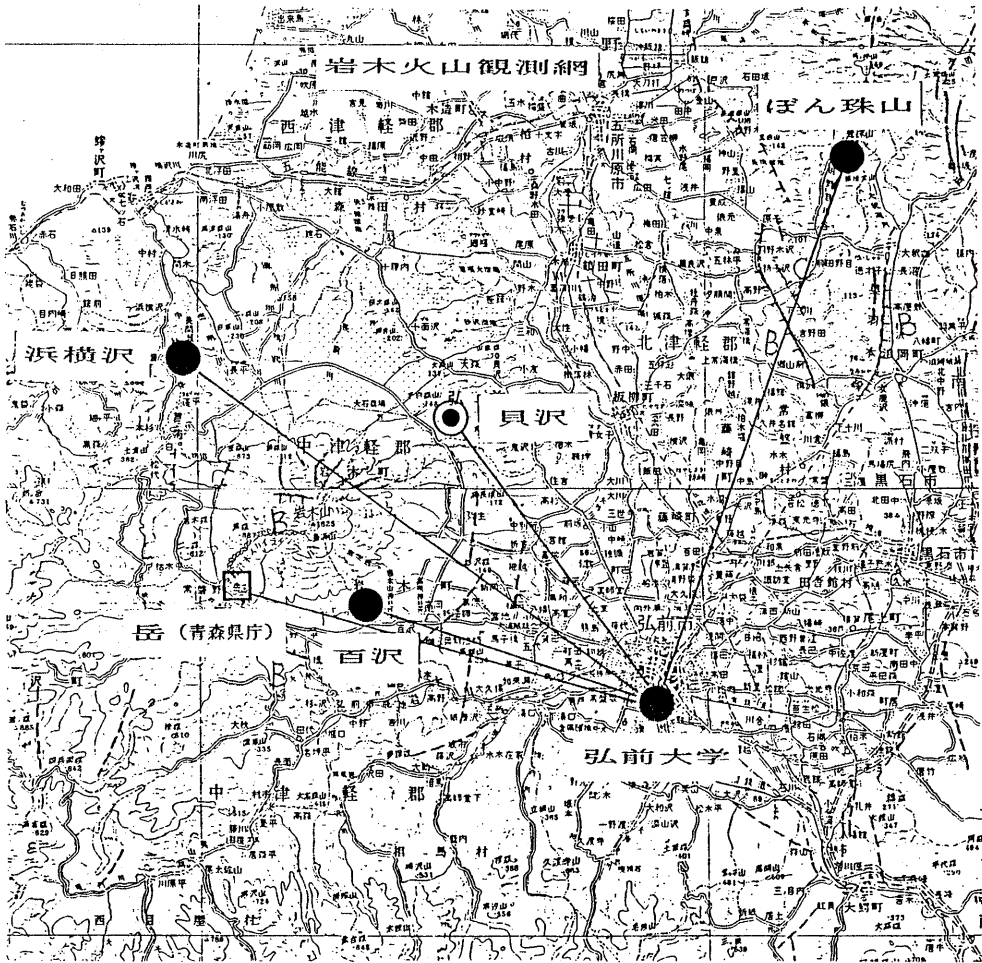


岩木山の最近の地震活動*

弘前大学理学部

昭和47年の岩木山群発地震発生以来、弘前大学ではこの地震群の観測を実施してきた。^{1), 2)}59年度に広域火山観測網が設置され、現在の観測網は第1図に示すようなものである。各観測点のデータは専用電話

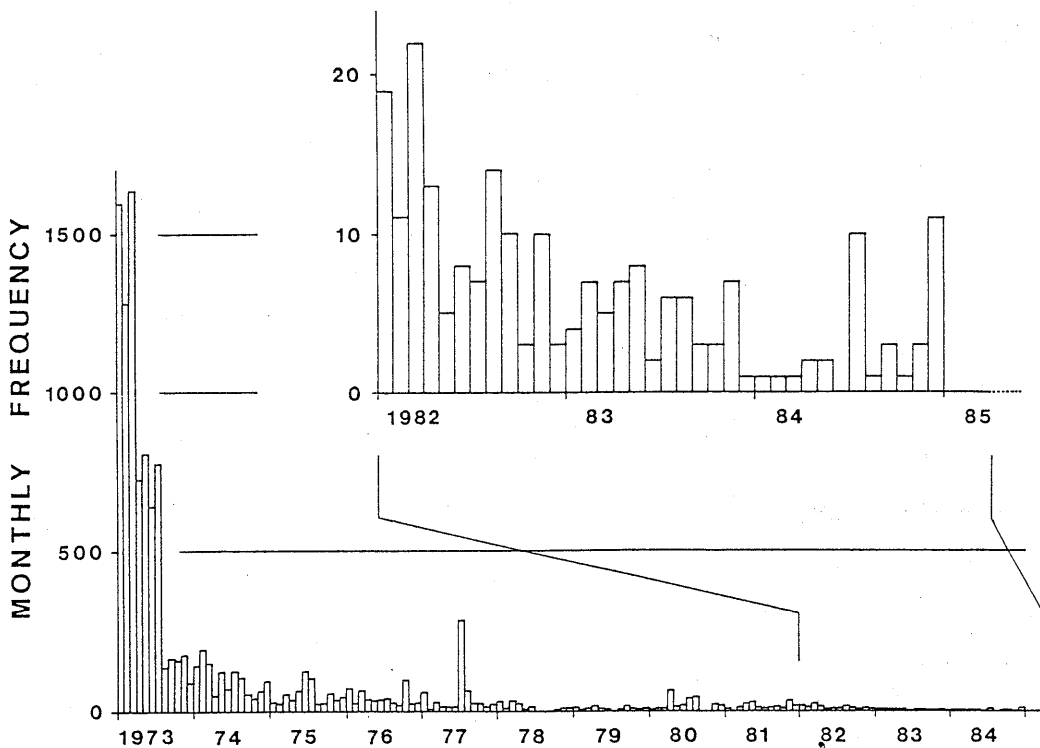


第1図 岩木山広域火山観測網。●印は弘前大学、◎印は東北大学と共同、□印は青森県庁の観測点。

Fig.1 Locations of seismic stations and telemeter network. ●: station installed by Hirosaki University, ◎: by Hirosaki Univ. and Tohoku Univ., and □: by Aomori Pref. Office.

* Received Jul. 15, 1985

回線により大学構内の理学部附属地震火山観測所にテレメータされ、集中記録されている。各観測点とも地震計は固有周期1秒、3成分であるが、岳観測点のみは上下成分のみがテレメータされている。百沢観測点には気泡型傾斜計2成分が設置されている。

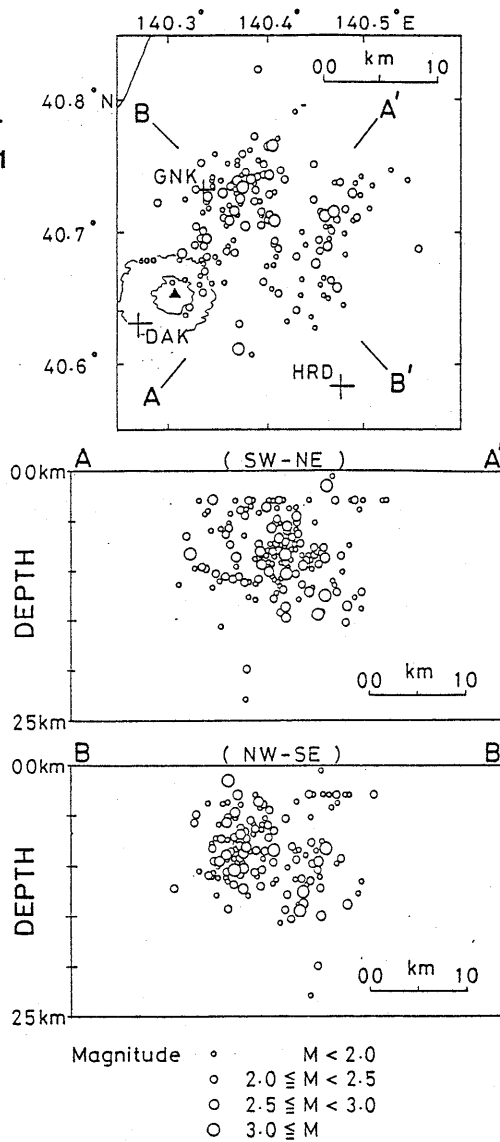


第2図 岩木山群発地震の月別発生回数

Fig.2 Monthly number of earthquakes observed in and around Iwaki Volcano.

岩木山群発地震の月別発生頻度を第2図に示す。群発活動が活発であった昭和48年には月1,500回を越えたが、その後活動は徐々に低調となり、現在では月数回程度である。1973～1981年に発生した地震のうち精度の高い震源分布を第3図に、1982年以降を第4図に示してある。震源は岩木山北東麓から津軽平野にかけた広い地域に分布し、その深さは主に3～15 kmの範囲にある。1982年以降の震源は津軽平野部に分布し、岩木山直下の地震活動は認められていない。また日本海中部地震の発生した1983年5月前後で、この群発地震活動に顕著な変化は見られない。

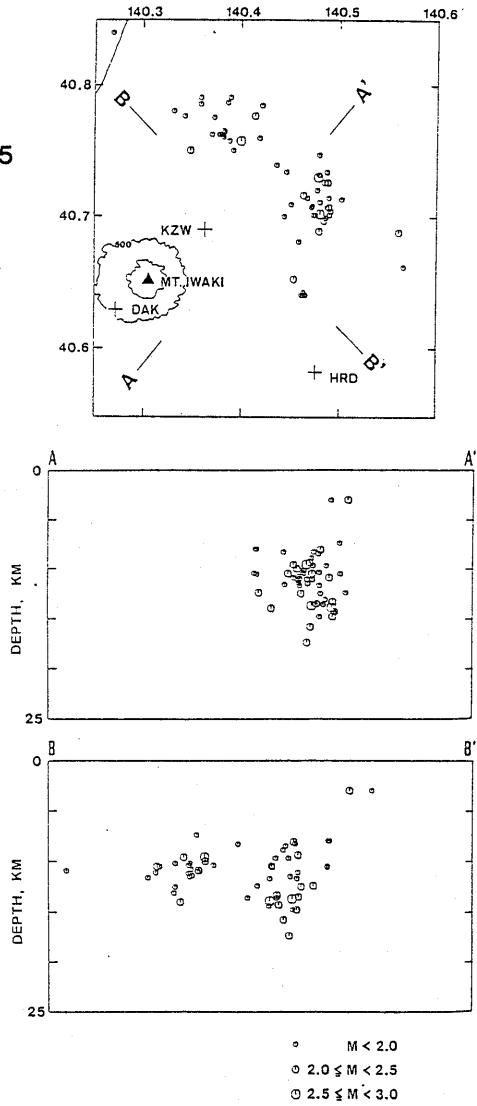
FEB.,1973 -
DEC.,1981



第 3 図 岩木山群発地震の震源分布 (1973 ~ 1981 年)

Fig.3 Hypocenter distribution for the period of 1973 - 1981.

JAN.,1982-
MAR.,1985



第 4 図 岩木山群発地震の震源分布 (1982 ~ 1985 年 3 月)

Fig.4 Hypocenter distribution for the period of 1982-March, 1985.

参 考 文 献

- 1) 田中和夫・植木貞人・長谷川武司(1973) : 岩木山地震に関する研究 (I), 弘前大学理科報告, **20**, 6-13.
- 2) 青森県(1973~1984) : 岩木山地震観測結果報告, **1~14**号。